

検査項目情報 一次サンプル採取マニュアル

[9314 / 5F560]

Ver.18

5.免疫学的検査 >> 5F.ウイルス感染症検査 >> 5F560 HIV-1+2抗体・p24抗原(定性) (時間外検査室)

HIV-1+2抗体・p24抗原(定性)

(時間外検査室)

HIV-1 & 2 antibody・p24 antigen

連絡先：平日時間内：3479・PHS 2908

オーダー

患者同意について

IC必要

検査結果に影響を与える臨床情報

大量のビオチン（ビタミンB7）の摂取は、検査結果に影響を及ぼす可能性があります。

オーダー画面

オーダー ⇒ 検査オーダー ⇒ 検体検査 ⇒ 時間外・休日 ⇒ ⇒ ⇒ 時間外・休日検査1

HIV-1+2抗体・p24抗原(定性)

(時間外検査室)

オーダーボタン名

HIV Scr.(定性)

検査予約

至急オーダー

不可

検査オーダーに関する注意事項（患者受入不可基準を含む）

医療従事者を守る観点, また, 安全かつ円滑に診療を遂行する観点から, スクリーニング目的で本検査をオーダーする場合は, あらかじめ届出が必要です.

スクリーニング目的のHIV検査について(院内環境限定)

術前等スクリーニングHIV検査(病院負担)届出書(院内環境限定)

HIV-1+2抗体・p24抗原(定性)

(時間外検査室)

検
体
採
取

患者の検査前準備

検体採取のタイミング

ラベル見本（検体）（単項目オーダー時）

ホンバ ンテスト

急 ☐

コバ スカンセン

血液

中検

C6

6ml



HIV-1+2抗体・p24抗原(定性)

(時間外検査室)

採取容器・検査材料

採取材料情報				測定材料情報	
記号	添加物（キャップ色など）	採取材料	採取量	測定材料	必要量
C6	凝固促進剤＋血清分離剤(ピンク)	血液	6 mL	血清	

採取容器について

削除

検体採取について

血漿は不可

採取後検体の取扱い

室温保存

検体搬送について

HIV-1+2抗体・p24抗原(定性)

(時間外検査室)

採取検体の保存条件

検体状態	保存条件1		保存条件2		保存条件3	
	温度	安定性	温度	安定性	温度	安定性
血清	室温	7 日	冷蔵	4 週	凍結	3 月

受入不可基準

溶血	検体凝固	強乳び	採取量過不足	採取容器違い
			不可	不可
尿材料違い	冷蔵保存なし	遮光保存なし	開栓	黄疸

再検査・追加検査の対応可能日数

検体採取日から7日間

検体採取に関する注意事項・検査の実施に関する注意事項

HIV-1+2抗体・p24抗原(定性)

(時間外検査室)

結果報告

検査機器

cobas e 411 (ロシュ・ダイアグノスティックス)

検査所要日数

当日報告

まいこネット開示までに要する所要日数の目安

翌日

検査部門・委託先

検査結果報告について

HIV-1+2抗体・p24抗原(定性)

(時間外検査室)

基準範囲

生物学的基準範囲1- または 臨床判断値

期間 / 年齢		現行		
基準値設定材料		血液		
検査方法		電気化学発光免疫測定法 (ECLIA)		
		男性	女性	単位
HIV-1+2抗体・p24抗原(定性) (-)		(-)		(定性・判定)

基準値情報

緊急異常値

表. KINGの結果参照画面で赤背景・青背景で表示される緊急異常値

高値	低値

電話連絡対応

HIV-1+2抗体・p24抗原(定性)

(時間外検査室)

臨床情報

臨床的意義

抗HIV-1抗体, 抗HIV-2抗体およびHIV-1 p24抗原検出は, HIV (Human Immunodeficiency Virus) 感染の診断や輸血によるHIV感染の予防に有用とされている.

HIV (ヒト免疫不全ウイルスウィルス) はエイズ (後天性免疫不全症候群, acquired immunodeficiency syndrome: AIDS) の病因ウイルスウィルスである. HIVは免疫機構の中枢であるCD4陽性T細胞やマクロファージに感染し, 数年~10数年の無症候期の後, 全身性の重篤な免疫不全を引き起こす. HIVはそのゲノム構造の違いから, HIV-1とHIV-2に分類される. 国内での感染例の大半はHIV-1によるものであるが, 2000年代中頃から日本人のHIV-2感染報告例が報告されている.

抗HIV-1/2抗体とHIV-1 p24抗原を同時に検出する試薬は, 第4世代試薬と呼ばれ, 抗体検出試薬である第3世代試薬と比べてウインドウ期が短縮される. スクリーニング検査では第4世代試薬の使用が推奨される. スクリーニング検査で陽性または判定保留となった場合でも, 偽陽性である可能性が否定できないので, 必ず確認試験 (抗体確認検査法と核酸増幅検査の両方) を行う.

異常値を示す病態・疾患

HIV-1+2抗体・p24抗原(定性)

(時間外検査室)

関連検査項目

参考文献

臨床検査法提要第35版

HIV-1+2抗体・p24抗原(定性)

(時間外検査室)

診療報酬コード

診療報酬			
区分		名称	点数
D012		感染症免疫学の検査	
D012	16	HIV-1,2抗原・抗体同時測定定性	109 点
D026	6	免疫学の検査判断料	144 点

標準コード (JLAC10)						
分析物					識別	
識別					測定法	

HIV-1+2抗体・p24抗原(定性)

(時間外検査室)

変更履歴

変更履歴			
Ver.	文書改訂日	変更内容	変更適用日
4/1/2008 1	制定		4/1/2008
5/11/2012 2	オーダー方法変更(KINGオーダーリング)		4/1/2012
4/2/2014 3	検体ラベル表記変更		4/4/2014
4/25/2016 4	平成28年度診療報酬改定		4/1/2016
4/25/2017 5	院内検査開始, 検査項目コード・項目名称・ボタン名称・検体ラベル表記・採取量・検査方法変更		4/27/2017
6/2/2017 6	検体ラベル表記変更[cobas.]⇒[キンキュウコパス]		6/2/2017
4/6/2018 7	平成30年度診療報酬改定		4/1/2018
12/16/2019 8	JLAC10更新に伴う検査項目名称変更		12/16/2019
4/2/2020 9	令和2年度診療報酬改定		4/1/2020
7/3/2020 10	ビオチン大量服用患者の留意事項を追記		7/3/2020
10/22/2020 11	ビオチン干渉項目に関する案内文を改訂		10/22/2020
8/30/2021 12	ビオチン干渉が緩和された試薬に変更		5/31/2021
3/9/2022 13	採取名称部分に検体搬送先を印字		12/9/2021
3/19/2022 14	採取容器変更		12/27/2021
4/6/2022 15	検査室名称を変更		6/25/2021
8/1/2022 16	令和4年度診療報酬改定		4/1/2022
12/1/2022 17	受入不可基準などについて全面改訂		12/1/2022
6/4/2024 18	令和6年度診療報酬改定		6/1/2024

(時間外検査室)

Ver.

文書改訂日

変更内容

変更適用日